

2008年3月30日 第34回全日本大会 (大阪府箕面市)

主管者がはじめてエントリー受付も担当した今回の全日本大会。裏ではいろいろありました。



冬の各種大会会場に精力的に顔を出して、全日本大会エントリーを受け付けた阪本氏

参加者目標 800名目指して

大阪府で全日本大会の主管を受けることになり、参加者数目標を 800 名としました。これは 2001 年度の京都での全日本大会参加者数が 1000 名であったのを十分に意識してのことです。

その目標を達成するために、宣伝活動には早くから取り組みました。今まで要項作成・エントリー受付は JOA の業務だったのを今回は大阪府協会にお任せいただけだったので、こちらのペースで要項作成とエントリー受付準備ができて助かりました。

見栄えのいい要項と WEB サイトの作成には、O-News & JOA の宮城島さんに大変お世話になりました。大阪のメンバーだけではあのような立派なものではできませんでした。改めてお礼申し上げます。

やはり会場申請が一番

11 月中旬に要項が完成し、早速エントリー受付を始めました。今回は

- ・郵便振替用紙による申込
- ・会場申込
- ・WEB エントリー
- ・スポーツエントリー

の 4 つの申込方法を用意しました。

自分の経験からもやはり会場申請が一番需要が多いだらうと思い、11 月中旬以降 2 月まで、各地の大会に精力的にお邪魔させていただきました。大市

場である関東への遠征も 3 回させていただきます。全日本の受付業務がなければ、半年に 3 回も関東遠征はしてないところですよ。

その効果は絶大で、2 月に埼玉であったクラブ対抗リレーの時には 50 名ほどの申込が集中し、受付にてんてこ舞いでした。最終的に事前申込者の 3 割ほどが会場受付を利用させていただきました。

また、スポーツエントリーも 2 割ほどの方がご利用になり、WEB を使ったエントリーが普及してきたことを感じさせられました。今や何でも WEB で買える時代ですからね。

今後積極的にやったらいいと思うのは、WEB やメールなど電子媒体による申込は参加料を割り引くこと。今回は JOA 主催大会ということで遠慮して言い出せなかったのですが、他の大会ではやっているところもあることだし、受付事務量の削減に効果がありますので全日本大会でも取り入れていいのではないかと思います。

紙版申込用紙は失敗？

郵便振替用紙の通信欄に申込書を印刷して記入してもらい振替で参加料を送金してもらうのはネット環境にない参加者にとっては一番簡単な申込方法だと思うのでこの大会でも採用しましたが、前日の 2 つのイベントとまとめて申し込めるようにしたために、申込書レイアウトがかなり窮屈なものになってしまいました。記入には苦労されたことと思います。ここでお詫びしておきます。

窮屈になっても申込書に書かれた字を読むのには支障はなかったですが、失敗だったのは参加クラスの記入欄。前日イベントとあわせて 3 大会の参加希望クラス記入欄を横一列に並べたのですが、これが、それぞれの大会に参加するかしないかのチェック欄と思っただけが多かったようで、ここに具体的なクラスを書くのではなくマルをつけてくる申込者が大量にいらっしゃいました。その方々の参加クラスを改めて問い合わせるのが、今回のエントリー受付業務ではいちばん大変でした。欄の作り方が失敗だったと反省しています。

参加者のマナー

大規模大会のエントリー受付をしていると、オリエンティアにもいろいろ

な人がいることがわかりました。

まずは年齢的に参加資格のないクラスにエントリーしてくる人。これは中高生で、自分の年齢よりも上の年齢のクラスにエントリーしてきました。たぶんダメもとでエントリーしてしまえということでしょうし、上のクラスに挑戦したいという前向きな気持ちは大事にしたいのですが、かといってルールを曲げるわけにはいかないので、丁寧に断りして年齢相応のクラスに出させていただきました。

これはまだ許せますが、マナー的になんかという人も多かったです。

まずは締切を過ぎても参加料を支払わない人。参加料を支払わない時点でエントリーはなかったことにする、という対応も規則上は可能ですが、一人でも多くの人に参加してほしいので、今回はしつこく督促しました。参加料前払いの大会では参加料を支払ってからはじめて申込手続完了です。参加料もちゃんと期限までに支払う、どうしても支払いが間に合わない場合は主催者に連絡を入れるのがマナーでしょう。

次に、無効の競技者登録番号を書いている人。今回は全員の競技者登録番号が正しいかどうかきっちりチェックしました。すると、登録されていない番号を書いている人が数名ありました。昨年度は登録があるが今年度はしていないという人がほとんどで、うっかり更新忘れをしていたのに気づかなかったのかもしれない。それならまだ許せるのですが、勝手に登録番号を作って申し込んできた悪質な人もいました。

最後に、クラブとしての活動実態がないと思われる所属名で申し込んでくる人。公認大会エントリーにおける所属クラブの要件はどこにも明文化されていないので、受け付ける側としてはどんな所属名で申し込まれても受けざるを得ませんし、どんな所属名で申し込むのも自由ですが、いやしくも全日本選手権なので、実態として存在しない所属名での申込はマナーに外れるのではないかと思います。

最後は後出しのお説教で終わってしまいました。失礼しました。

(阪本 博)